

ウオダス

漁海況速報

No. 1564



発行日 平成 19 年 7 月 2 日

http://www.applenet.jp/~aosui/

発行 青森県水産総合研究センター

TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778

住所 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸 384-37

7月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 平成 19 年度第 2 回日本海海況予報が発表されました
- 東シナ海及び黄海、朝鮮半島沿岸で大規模クラゲの出現が確認されました

小泊 (6月26~30日)

スルメイカ	一本釣	166隻	57,530kg
ウスメバル	一本釣	129隻	2,432kg
(6,578kg)	刺網	75隻	4,146kg

下前 (6月21~25日)

スルメイカ	一本釣	118隻	60,030kg
ウスメバル	刺網	24隻	2,150kg
(2,648kg)	一本釣	12隻	498kg

大戸瀬 (6月26~30日)

スルメイカ	一本釣	13隻	8,050kg	
(8,500kg)	定置網	6隻	135kg	
	底建網	6隻	315kg	
ブリ	定置網	9隻	181kg	
(206kg)	底建網	2隻	7kg	
	一本釣	3隻	19kg	
マダイ	定置網	32隻	154kg	
(426kg)	底建網	66隻	224kg	
	刺網	4隻	48kg	
マグロ	一本釣	5隻	109kg	
	マサバ	定置網	6隻	7kg
(77kg)	底建網	20隻	71kg	
ウスメバル	定置網	1隻	0.2kg	
(2kg)	底建網	10隻	1.5kg	
サクラマス	定置網	3隻	3.1kg	

沢辺 (6月26~30日)

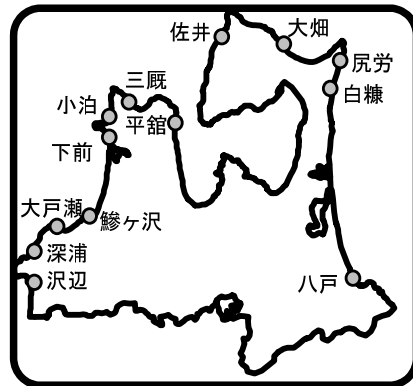
マダイ	定置網	4隻	70kg
(84kg)	底建網	3隻	14kg
ウスメバル	底建網	5隻	8kg
ブリ	定置網	2隻	333kg
マサバ	定置網	5隻	93kg

三厩 (6月26~30日)

スルメイカ	一本釣	21隻	9,100kg
ウスメバル	一本釣	4隻	148kg
マダイ	刺網	25隻	209kg
(349kg)	延縄	4隻	140kg

平館 (6月26~30日)

スルメイカ	111kg
マダイ	63kg
マアジ	33kg
マサバ	85kg
マイワシ	684kg



鰺ヶ沢 (6月26~30日)

スルメイカ	一本釣	46隻	30,360kg
(30,425kg)	底建網	1隻	65kg
マダイ	底建網	21隻	310kg
(842kg)	一本釣	5隻	532kg
ウスメバル	底建網	1隻	0.2kg
マグロ	一本釣	1隻	6kg
マアジ	底建網	3隻	5.6kg
マサバ	底建網	4隻	17kg

大畑 (6月26~30日)

スルメイカ	一本釣	18隻	5,665kg
(6,215kg)	定置網	6隻	550kg
サクラマス	定置網	5隻	10kg
ブリ	定置網	4隻	36kg
ウスメバル	一本釣	2隻	56kg
マサバ	定置網	2隻	0.9kg
マグロ	定置網	1隻	240kg
マダイ	定置網	11隻	23kg
ヤリイカ	定置網	1隻	0.1kg

尻労 (6月26~30日)

スルメイカ	一本釣	27隻	6,980kg
ウスメバル	底建網	11隻	319kg
マグロ	定置網	1隻	64kg
メジ	定置網	7隻	724kg

八戸 (6月26~30日)

スルメイカ	一本釣	180隻	184,039kg
サケ	他定置網	4隻	1,124kg

深浦 (6月26~30日)

(取りまとめ中)

白糠 (6月1~30日)

(取りまとめ中)

佐井 (6月16~30日)

(取りまとめ中)

主要魚種の動き

〇スルメイカ (一本釣・6月26~30日)

(日本海)	今回	前回は	漁期累計(5月~)	昨年同期累計比
小泊	57,530kg	46%	799,640kg	249%
鰺ヶ沢	30,360kg	54%	203,570kg	304%
(津軽海峡)				
三厩	9,100kg	78%	74,100kg	185%
大畑	5,665kg	17%	18,660kg	3928%
(太平洋)				
八戸	184,039kg	915%	221,639kg	-

〇ウスメバル (全漁法・6月26~30日)

(日本海)	今回	前回は	漁期累計(4月~)	昨年同期累計比
小泊	6,578kg	79%	58,488kg	90%
(津軽海峡)				
三厩	148kg	148%	4,832kg	87%

〇タイ (全漁法・6月26~30日)

(日本海)	今回	前回は	漁期累計(4月~)	昨年同期累計比
鰺ヶ沢	842kg	540%	6,591kg	114%
大戸瀬	426kg	84%	30,795kg	142%
沢辺	84kg	82%	8,151kg	106%
(津軽海峡)				
三厩	349kg	106%	3,324kg	236%
(陸奥湾)				
平館	63kg	10%	5,898kg	21%

〇ブリ (全漁法・6月26~30日)

(日本海)	今回	前回は	漁期累計(5月~)	昨年同期累計比
大戸瀬	206kg	116%	13,120kg	288%
沢辺	333kg	1041%	2,715kg	207%

〇クロマグロ (全漁法・6月26~30日)

(日本海)	今回	前回は	漁期累計(5月~)	昨年同期累計比
鰺ヶ沢	6kg	-	18kg	153%
(太平洋)				
尻労	788kg	29%	14,873kg	573%

沿岸各地の水温

(6月26～30日)

日本海 20～21 台 津軽海峡 17～18 台
 陸奥湾 18～20 台 太平洋 16～17 台

今回は鰯ヶ沢、青森を除く各地で前回より昇温がみられ、平均前回差は+0.9度となりました。

昨年と比べると、日本海側で+0.6度、津軽海峡側で+2.7度、太平洋側で+2.7度、陸奥湾内で+2.7度となっており、平均昨年差は+2.4度となっています。

平年と比べると、日本海は平年並みで、その他各海域ははなはだ高めとなっており、平均平年差は+2.6度となっています。

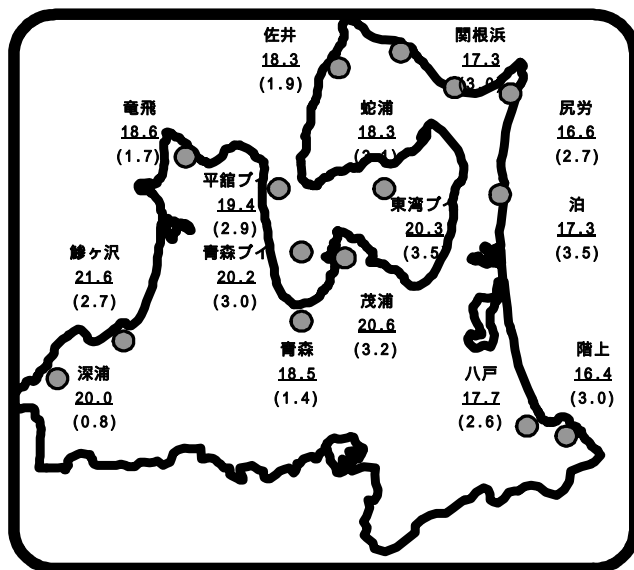


図 定地水温 (6月26～30日) 平均値 (平年差) プイ1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	20.0	+0.8	-0.5	+1.2
鰯ヶ沢	21.6	+2.7	+1.7	-0.5
竜飛	18.6	+1.7	+1.6	+0.3
佐井	18.3	+1.9	+2.5	+0.8
青森	18.5	+1.4	+1.8	+2.4
蛇浦	18.3	+3.1	+3.8	+0.3
関根浜	17.3	+3.0	+3.1	+1.2
尻労	16.6	+2.7	+4.4	+0.6
泊	17.3	+3.5	+2.9	+1.4
八戸	17.7	+2.6	+1.0	+0.9
階上	16.4	+3.0	+2.3	+0.9
茂浦	20.6	+3.2	+2.9	-0.1
平館	19.4	+2.9	+2.8	+1.8
青森	20.2	+3.0	+2.7	+0.5
東湾	20.3	+3.5	+3.4	+1.1
平均	18.7	+2.6	+2.4	+0.9

平成19年度第2回日本海海況予報

(独)水産総合研究センター日本海区水産研究所は6月29日、関係機関の情報をとりまとめ以下のような予報を発表しました。

今後の見通し(2007年7月～9月)

- (1) 丹後半島北方の暖水域は、ほぼ停滞する。佐渡島沖の暖水域は、北東に移動する。佐渡島北方の暖水域は、東に移動する。男鹿半島の暖水域は、北上した後消滅する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、平年並み。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、弱い。佐渡島沖及び入道崎沖の冷水域の張り出しは、やや弱い。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、”やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流の50m深水温は、日本海西部は”やや高め”、北部は”かなり高め”で経過する。

大型クラゲ出現・予測調査について(第1報:6月25日現在)

水産庁等は6月27日、標記に関するプレスリリースを行いました。その概要は以下のとおりです。

1. 分布について

- ・6月12～13日及び21～25日に東シナ海中央部、6月19日に済州島北西の黄海で確認
- ・東シナ海及び黄海、朝鮮半島西岸及び南岸の一部で出現が確認(韓国の情報)

2. 今後の予測

- ・7月上中旬頃までに、長崎県対馬周辺に出現する可能性が示されています(昨年度は7月21日、一昨年度は7月8日に対馬周辺に出現)。

詳しくは(社)漁業情報サービスセンターのHP(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)をご覧ください。

太平洋の海況(6月28日～7月1日)

概況;沿岸水温は16～18台

太平洋沿岸域の表面水温

16～18台で前回と比べ1～2度昇温しています。前年同期と比較すると、3～4度高い水温になっています。

津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 16等温線で見ると東経143度10分付近までで、張り出しは前回より強くなっています。

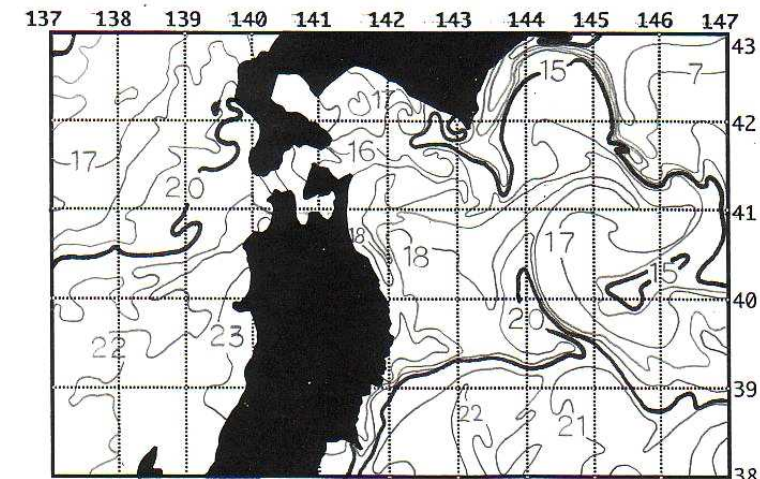
親潮系冷水の南下 13等温線で見ると北緯41度55分付近までで、張り出しは前回より弱くなっています。

日本海海況(6月28日～7月1日)

概況;沿岸水温は20～22台

日本海沿岸域の表面水温

20～22台で前回と比べ1～2度昇温しています。前年同期と比較すると2～3度高い水温になっています。



資料:(社)漁業情報サービスセンター
 北部太平洋海況情報 第26号 7月2日

試験船情報

試験船開運丸は今週から太平洋において、北太平洋あかいか資源量調査を行う予定です。

試験船青鵬丸は、津軽海峡及び太平洋において、重要魚種資源モニタリング調査を行う予定です。